

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
4 年

5月8日(木) 4校時

5月9日(金) 3校時

文章の組み立てをとらえよう③④

○「生き物図かん」をつくるために、段落のまとまりを捉える活動を行うことを目指し、段落ごとに中心となる語や文を見つけて要点を捉える。(思・判・表 C(1)ウ)

本時のこだわり！！

全員参加！

・要点カードを2枚示し、2択から1つを選ぶことで、学級全員に意見を持たせて表現させる。

時間	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)
3	1. 前時の復習	○魚を用いて、初め・中・終わりを確認する。
	2. めあての確認	○「生き物図かんをつくる」というゴールを見据え、段落のまとまりを捉えるために活動することを伝える。
6	大事な言葉や文を探して、要点カードをつくろう。	
35	3. 2択クイズ 【全員参加】	○ひと段落ずつ音読させる。大切な箇所は動作化する。 ○2枚の要点カードを示してどちらが適切か考えさせることで、各段落の要点をまとめさせる。 C:「九つものイソギンチャクをつけたヤドカリ」は具体例だから、要点カードにはいれない C:段落の中で一番伝えたいのはこの一文だからこっち C:「問い」に対する「答え」になっているからこっち C:文中の「のです」という言葉はヒントかもしれない ○ゲーム形式にして、「読みたい！」を引き出す。 ○各段落の要点をつかむときのポイント＝「大事な言葉や文」とは何かをおさえる。
	4. 個人①(中心文を見つける) 5. グループ①(要点をつかむ) 6. 個人②(要点をつかむ) 7. まとめ	○個人やグループで要点をつかむ活動を繰り返し行い、要点をつかむ力を育てる。 ☆段落ごとに中心となる語や文を見つけて、要点を捉える。 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)
45	要点をつかむときのポイントは、①筆者が一番伝えたい一文(＝中心文)を探す ②いらない言葉はけする ③中心文には具体例は入らない ④大事な言葉や文はつけたす	